

# 青梅市文化財ニュース

第379号

令和元年5月15日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土博物館(青梅市駒木町1-684 TEL0428-23-6859)

## 『おうめ文化財さんぽ』が刊行される

青梅市は、西部と北部に山地が連なり、東部には武蔵野台地が広がっています。市域のほぼ中央部を多摩川が西から東方へ流れ、北部には荒川水系に属する霞川・黒沢川・成木川が流れています。約103km<sup>2</sup>の市域内には、今から1万年以上も前から人々が生活し、神社・仏閣が多く保存され、伝統行事も各地で続いています。

市内には、令和元年5月1日時点で207件の有形・無形の文化財が指定されています。内訳は、国指定が17件、国指定登録有形文化財が6件、都指定が48件、市指定が136件です。

青梅市教育委員会では、これらの文化財を保護するとともに、さまざまな普及事業を行っています。釜の淵公園内にある郷土博物館では、通年展示に加え、年に4回程度の企画展等を行っています。現在は、企画展「甲冑武具展～青梅ゆかりの品々を中心に～」を6月16日(日)まで開催しています。これら博物館内での展示活動のほか、刊行物による普及事業も行い、これまでに、『青梅歴史物語』・『青梅を歩く本』・『青梅を歩く―青梅市文化財地図―』、あるいは展示図録などを刊行しました。これらは、中央図書館や市民センターの図書館などでも閲覧することができます。

この春、普及事業の一環として、小中学生以上の方々に市内の文化財をさらに理解していただくため、『おうめ文化財さんぽ』を刊行しました。市内を11の散歩コースに分け、文化財を見学して巡る内容です。

散歩コースは、次のようになっています。

1. 成木地区…安楽寺から吹上峠入口へ
2. 小曾木地区…岩蔵温泉から黒沢へ
3. 御岳山地区…御岳山と御師集落
4. 沢井地区…軍畑駅から御嶽駅へ
5. 梅郷地区…宮ノ平駅から二俣尾駅へ
6. 旧青梅宿地区…青梅駅周辺をめぐる
7. 千ヶ瀬・河辺・東青梅地区…東青梅駅から大門へ
8. 東青梅・野上地区…東青梅駅から谷野へ



9. 今井・藤橋・大門地区…今井から大門へ
10. 長淵地区…郷土博物館から友田へ
11. 新町地区…小作駅から新町へ

出発地点から到着地点まで、20 か所以上の見学地点を巡る内容です。各コースには、その付近の小学校・中学校がすべて掲載され、創立の由来なども紹介しています。それぞれの見学地点では、歴史や文化を中心に、地域の人たちとの結びつきなど、小中学生にも理解しやすいよう、簡単ではありますが、密な内容の説明文となっています。また、説明文と現地の状況が対照できるよう、写真も多く掲載し、文化財をより理解してもらえるように工夫しています。

巻末には、指定文化財の一覧表をはじめ、歴史年表・七福神めぐり・イベントカレンダーなどを掲載し、市内の歴史や観光などについても知っていただくことができるようになっています。

『おうめ文化財さんぽ』の販売価格は 700 円で、青梅市郷土博物館のほか、青梅市役所 3 階の社会教育課でも販売しています。

(文責 角田 清美)